

(5)雑誌執筆論文

①『労働運動』（旧誌名『労働・農民運動』を含む）

- IMF／JCの運動路線と危険な役割  
『労働・農民運動』 (1966年5月号)
- 「アメリカ型」協約の典型－八幡製鉄の労働協約 (1966年9月号)
- 鉄鋼産業における労働災害の実態と闘い (1966年10月号)
- 鉄鋼業における「合理化」攻撃と労働者の状態 (1967年4月号)
- 労働組合の役員選挙制度 (1967年8月号)
- 「安全に労使の対立なし」のごまかし－鉄鋼 (1968年2月号)
- 組合民主主義の現状と課題 (1968年5月号)

- 労働組合の役員選挙 (1968年7月号)
- 八幡・富士の組合役員選挙 (1968年9月号)
- 人べらし「合理化」と要員闘争 (1968年11月号)
- 中小企業労働者と産業別統一闘争 (1969年6月号)
- 鉄鋼産業の四組三交替と時短闘争 (1969年12月号)
- 鉄鋼産業の四組三交替をめぐる闘いの経過と教訓 (1970年5月号)
- 鉄鋼大手労働組合の役員選挙の特徴 (1970年9月号)
- 春闘16年 (1971年4月号)
- 労働戦線統一と青年労働者 (1971年5月号)
- 4・3交替制アンケートに見る鉄鋼労働者の状態と要求 (1972年1月号)
- 72春闘と労働協約闘争の前進 (1972年2月号)
- ヨーロッパの労働組合の組織形態の特徴－西ドイツ (1972年5月号)
- 交替制度について (1972年9月号)
- 労働協約をめぐるたたかい (1972年11月号)
- 年次有給休暇とその制度の改善 (1973年6月号)
- 鉄鋼＝要員削減、賃金抑制の強まり (1973年7月号)
- 要員・時短闘争の新しい局面 (1974年2月号)
- 基礎理論の学習の手引き－権利闘争 (1974年5月号)
- 組合民主主義と役員選挙－鉄鋼産業 (1974年7月号)
- アメリカ式労務管理とのたたかい (1974年10月号)
- 労働組合組織の日本の特徴 (1974年12月号)
- 婦人労働者の運動に関する文献 (1975年4月号)
- 「経営参加」問題への労働組合の対応 (1975年7月号)
- 鉄連53回定期大会－「第二期賃金政策」も論議 (1975年11月号)
- 右翼的「産業政策」の反労働者性 (1976年4月号)
- 鉄鋼労働組合運動の現状と課題 (1976年7月号)
- 公明党の反共「労働戦線の統一」 (1976年11月号)
- 春闘に底力をつける職場の自由と民主主義 (1977年3月号)

- 労働協約と就業規則の学習と点検 (1977年5月号)
- 民間大経営労組の過去・現在・未来 (1977年6月号)
- 労働戦線統一の新たな動き (1977年9月号)
- 体制的危機とイデオロギー攻撃 (1978年2月号)
- 右翼的潮流の「自由と民主主義」 (1978年4月号)
- 労働組合の自主性と民主性 (1978年8月号)
- 大企業の「経営戦略」と要求を重視する活動 (1980年2月号)
- 労働者にとっての権利とは－憲法が保障する労働条件の最低基準と労働基本権 (1980年7月号)
- 労働者にとっての権利とは－就業規則と労働協約について (1980年8月号)
- 〈書評〉・総評弁護団編『労働基準法実務全書』 (1981年2月号)
- 緊急性増す組合役員選挙制度の改革 (1981年5月号)
- 民社党おしつけの合理化－『労働組合と政治』批判 (1984年5月号)
- 組合民主主義の確立は急務 (1984年9月号)
- 特定政党支持の害悪は明白 (1986年4月号)
- 「企業主義」宣伝と労働組合 (1987年1月号)
- 大「合理化」推進の「企業危機」論 (1988年1月号)
- 組合民主主義こそ闘争力の基盤 (1988年5月号)
- 賃金体系改悪のねらい－鉄鋼産業にみる (1989年3月号)
- 大企業の非民主的組合役員選挙 (1991年1月号)
- 〈書評〉・山村信吾著「私の歩んだ道」 (1995年6月号)

## ②『経 済』

- 合理化の重圧と鉄鋼労働者 (1966年10月号)
- 大型合併をもたらす鉄鋼労働者への「合理化」攻撃 (1969年5月号)
- 「合理化」と中高年労働者、青年労働者 (1970年8月号)
- 労資協調路線下の労働者状態 (1975年8月号)
- 独占資本・政府の思想攻撃批判 (1981年2月号)

- 戦後最大の「合理化」と右翼的潮流の社会経済的基盤－鉄鋼業に見る  
(1987年12月号)
- 「赤旗」か「青旗」か－労働戦線のゆくえ (1989年5月号)

### ③『労働法律旬報』

- 最近の協約闘争をめぐる特徴と鉄鋼労働者のたたかい  
(1958年 第315号)
- 鉄鋼産業の四組三交替制の実態と問題点 (1970年 第754号)
- 鉄鋼独占資本の労務管理、労働組合対策（上） (1972年 第805号)
- 鉄鋼独占資本の労務管理、労働組合対策（下） (1973年 第827号)
- 鉄鋼労連の産業別労働協約闘争 (1973年 第841号)
- 書評・労働運動史研究会『労働運動の新段階』 (1975年 第873号)
- 野村先生と労働組合運動 (1979年 第972号)
- 鉄鋼産業における労働運動と少数派運動 (1988年 第1204号)

### ④『賃金と社会保障』

- 鉄鋼労連・福祉対策活動の直面する諸問題と今日の活動の重点  
(1958年 第1号)
- 交替制勤務の時間短縮 (1969年 第486号)
- 鉄鋼労働運動と賃金・合理化問題－鉄鋼労連大会を中心にして  
(1970年 第543号)
- 夜勤・交替制勤務 (1972年 第612号)
- 独占的大企業労働者のたたかいに何が求められているか  
(1976年 第711号)
- 運輸一般の概要と中央本部の組織と機能 (1983年 第860号)
- 地域的な集团的労使関係確立をめざす運輸一般兵庫地方本部の組織と  
機能 (1983年 第862号)
- 労働組合の原点と組合員教育 (1986年 第930号)
- 労戦新時代と労働組合改革の課題・高橋佑吉著『企業社会と労働組合』

- を読んで (1990年 第1029号)  
○『終身雇用制崩壊』の論議と労働組合運動 (1993年 第1117号)

⑤『労働経済旬報』

- 座談会 協約闘争の考え方・闘い方 (1957年 第340号)  
○座談会 合理化の諸問題と協約闘争 (1967年 第686号)  
○職場相談 要員闘争にとって大切なことはなにか (1972年 第847号)  
○職場相談 職場の権利侵害とどうたたかうのか (1972年 第862号)  
○最高裁「年休判決」の意義と労働組合運動の課題 (1973年 第887号)

⑥『学習の友』

- たたかいは職場総点検から (「1971年別冊「春闘と選挙総特集号」)  
○72春闘 打ち破ろう低額回答 誌上大討論会 (1972年4月号)  
○72春闘の成果とこれからの課題 (1972年7月号)  
○日本鋼管大「合理化」の背景 (1972年12月号)  
○ストライキ権の奪還【“私たちの要求”基礎知識シリーズ】 (1973年別冊「73みんなの春闘」)  
○73春闘職場を基礎にどうたたかうか (1973年3月号)  
○春闘権利問題10問10答—共同執筆 (1973年4月号)  
○労働組合の正しい選挙方法は?【そこが知りたい】 (1973年9月号)  
○要求づくりからストライキへ10問10答—共同執筆 (1974年別冊「インフとたたかう74年春闘」)  
○ストライキを成功させるための四つのポイント—共同執筆 (1974年4月号)  
○生命と平和を守って—『千代田丸事件』を読んで (1974年8月号)  
○労働者と労働組合の権利—野村平爾氏と共同執筆 (1974年別冊「労働組合の基礎知識」)

- 特定政党支持はどんなばあいでも誤りなのですか【質問に答えて】  
(1974年9月号)
  - 当面の要求と労働組合の課題は何か【疑問に答えて・共同執筆】  
(1974年11月号)
  - 75春闘私たちの要求ー共同執筆 (1975年春闘別冊)
  - 職場の権利QアンドA (1975年5月号)
  - 職場活動のQアンドA (1975年10月号)
  - 合理化と労働者の権利  
(1975年10月号別冊「賃金・“合理化”の基礎知識」)
  - すべての労働者にスト権の完全保障を (1975年12月号)
  - 76春闘をめぐる情勢とたたかい方【疑問に答える・共同執筆】  
(1976年春闘冊「国民的危機を打開する76春闘」)
  - これだけは知っておこう職場の権利【労働組合コーナー】  
(1976年6月号)
  - 一人ひとりが行動できる春闘をー共同執筆  
(1977年春闘別冊「77春闘勝利の道」)
  - 自主管理活動の職場教育と労働者の権利【労働組合コーナー】  
(1977年3月号)
  - 権利問題の入門書紹介【労働組合コーナー】 (1977年4月号)
  - 労働者の権利と労働組合ー野村平爾氏と共同執筆  
学習の友別冊・学習テキスト「労働者と労働組合」 (1977年10月)
  - 右翼的潮流主導の労働時間法制ではたたかえないー労働四団体・全民  
労協「労基法改正要求要綱」批判 (1986年3月号)
  - 労働時間短縮こそ世界の流れ (1987年9月号)
  - 労基法改正14のポイント  
学習の友ブックレット1・『改正しよう労基法』 (1992年5月)
- ⑦その他の雑誌、パンフレット
- 八幡・富士の合併と鉄鋼労働運動

(『学習運動』第134号 1968年7月)

- 鉄鋼労働運動の最近の状況－鉄鋼労連の役選と大会にみる  
(同上 第160号 1970年10月)
- 時間短縮問題の最近の特徴 (同上 第164号 1971年2月)
- 新日鉄と70年代「合理化」 (同上 第167号 1971年5月)
- 鉄鋼労連の危険な役割 (同上 第172号 1971年10月)
- 労働戦線の右翼的再編成 (パンフレット・私版 1972年)
- 右派幹部のもとでの活動で大切なこと

(『学習運動』第188号 1973年2月)

- 73年春闘とストライキーストライキとは何か  
(同上 第189号 1973年3月)
- フランスの労働組合運動と企業内における労働者の権利  
(『金属労働資料』昭和49年第9号 1974年)
- 新労資協調主義の動向 (パンフレット・私版 1976年)
- 座談会 職場の自由と民主主義を守る運動の問題点と教訓  
(『職場からの証言・職場の自由と民主主義を守る全国交流集会記録』 1977年)
- 企業内教育と「期待される社員像」－住友金属にみる体系と実態  
(『科学と思想』第25号 1977年)
- 首切り・人減らし「合理化」と労働組合運動  
(パンフレット・私版 1977年)
- 職場の自由と民主主義を守る運動のあらたな前進をめざして  
(『職場からの証言 2 人間の尊厳と自由を求めて・職場の自由と民主主義を守る全国交流集会記録』 1978年)
- 政党と労働組合の関係 (パンフレット・私版 1978年)
- 右翼的潮流の路線批判 (パンフレット・私版 1978年)
- 独占的大企業の職場における自由をめぐる状況  
(『唯物論』第10号 1978年)
- 企業主義イデオロギーの今日の特徴とそれとの闘い  
(パンフレット・私版 1979年)
- 総評の結成と今日 (パンフレット・私版 1980年)

- 危機下の企業主義イデオロギー—今日的形態を原点から批判  
(パンフレット・私版 1983年)
- 現代の「合理化」・「労働疎外」と労働組合運動  
(『科学と思想』第35号 1980年)
- 年次有給休暇の諸問題—「働きすぎ」を是正し人間的な労働と生活の  
ために (高知短期大学・「第15回短大祭」パンフレット 1983年)
- 戦後日本の労働組合運動と谷川巖氏 (『平野文庫』24号 1985年)
- 「戦後総決算」路線にそった同盟の危険な役割—同盟「1986・87年度  
運動方針」批判  
(『86年度日経連「労問研報告」・同盟「運動方針」批判』1986年)
- 民間大企業における階級的活動家集団の権利闘争—その運動上の意義  
と到達点 (『早稲田法学』第64巻第4号 1989年)
- 高知の女性の労働事情 (『ウーマンKOCHI』第4号 1989年)
- 「こうち女性プラン」の感想 (同上 第5号 1990年)
- 「豊かさ」と自由時間 (『文化高知』第22号 1991年)
- 労働運動と労働者協同組合の関係について  
(WORKER' SCOOP—労働者協同組合への招待 1991年)
- (書評) 木元進一郎著『激動期の日本労務管理』  
(『季刊・労働総研クォーター』6号 1992年春季号)
- 『高知市民の生活実態と意識調査—新しい男女共生社会をめざして—』  
の調査結果にみられる傾向  
(『高知市民の生活実態と意識調査』平成5年3月)
- 労働者協同組合と労働運動、労働組合運動  
(『仕事の発見』No.26季刊 1993年秋)
- 職場組合員レベルの調査交流と学習を  
(労働運動総合研究所『労働総研ニュース』No.51 1994年6月)
- ベトナムの新しい労働法典 (同上 22号 1996年3月)
- 現代労働運動の基本的課題 (同上 24号 1996年10月)
- 少子化現象をくいとめるために



(6)学会・研究会報告(1987年以降)

- メインテーマ・現代労働問題と「人づくり」の総括討論の主討論者  
(社会政策学会 第75回大会 1987年10月)
- 1991年以降の労働組合運動と労働政策の特徴  
(社会政策理論研究会 1992年6月)
- 最近の労働情勢の動向 (日本社会政策学会中四国部会 1992年4月)
- 1990年代長期不況下の鉄鋼独占企業のリストラ「合理化」と労働者、労働組合の対応—新日鉄八幡とNKKK京浜を中心にして  
(日本社会政策学会中四国部会 1993年7月)
- 長期不況下の「雇用調整」と「終身雇用制・慣行」問題をめぐる論議状況  
(現代社会研究会 1994年7月)
- マレーシア、タイの労働事情の一端—両国労働組合組織と日系中小企業の労働諸条件  
(現代社会研究会 1994年11月)
- ベトナムのドイモイ政策下の社会労働事情  
(社会政策理論研究会 1995年10月)
- 鉄鋼労働組合運動における「労働組合主義」グループの支配権確立の過程—1996年代における大企業組合の役員選挙の実態を中心にして  
(法政大学大原社会問題研究所研究会 1996年3月)
- 日本における左派ナショナル・センターの運動課題—労働組合運動をめぐる動向  
(社会政策学会中四国部会 1996年9月)
- 最近の新日鉄八幡労組における組合役員選挙の状況  
(社会政策理論研究会 1996年11月)

(7)講演と講演記録

①講演(1988年度以降の主なもの)

- 日本における労働戦線「統一」運動の現段階とヨーロッパ労働組合運動の動向  
(政労協高知地連 1988年4月)

- 男女平等の流れとこれからの日本社会  
(高知県総合老人大学高坂学園 1988年9月)
- 職場の男女平等にとって必要なことはなにか  
(高知短期大学大学祭公開講座 1988年11月)
- パートタイム労働の全般的な動向と評価をめぐる論点  
(高知パートタイム雇用・労務管理改善研究会 1988年11月)
- 職場と人権(1)(2) (高知市民の大学 1989年2月)
- 労働組合論－階級的なショナルセンターと組合民主主義  
(嶺北労農大学講座 1989年3月)
- 最近の労働問題・労働組合運動をめぐる二、三の問題  
(高知婦人少年室研究会 1989年4月)
- 高齢化社会と労働運動－『高齢者運動宣言』を読む  
(高知市民の大学 1989年7月)
- 「いま、なぜ豊かさか」、「働くことと豊かさ」、「労働時間短縮の重要性」  
(以上三テーマ、高知県教育委員会主催高知短期大学開放講座 1989年7月)
- 男女平等の流れと21世紀の日本社会  
(高知県教育委員会主催・県立高校教員研修会 1989年8月)
- 市町村行政と勤労者福祉  
(高知県・市町村勤労者福祉担当者会議 1989年10月)
- 外国人労働者の人権 (高知市民の大学 1990年1月)
- 女性が働き続けるために必要な課題  
(高知市・しこくフォーラム 1990年3月)
- 世界史の変動の時代と大学・社会科学－高知短期大学で学ぶ心構え  
(高知短期大学学長代理講演 1991年4月と1992年4月)
- いま、なぜ「豊かさ」か－ほんとうの生活の豊かさとは何か
- 働くことと豊かさ－「経済大国」日本の労働実態の人間的な労働生活のための課題
- 労働時間短縮の重要性－「ゆとり」ある職場と生活のために

(以上三テーマ、高知短期大学開放講座 1970年7月)

○パートタイム労働者の実態と生活の問題点－労働環境改善の課題

(四国四県主催・平成2年度夏期労働大学講座 1990年7月)

○男女雇用機会均等法下の女性労働－女性が働き続けるための必要条件  
は何か (高知県教組幡多支部婦人部学習会 1990年12月)

○労働組あってなに－労働組合の基礎知識

(嶺北労農大学講座 1991年3月)

○働く青少年を育てるために必要なこと－働きながら学ぶ若い人に接し  
て考える (高知婦人少年室・勤労青少年福祉員会議 1991年7月)

○高知県の働く婦人の現状 (土佐山田町婦人学級 1992年1月)

○労働者の権利と労働法

(民間労組学習実行委員会主催学習会 1992年2月)

○現代社会と大学－歴史的転換期に高知短期大学で学ぶ心構え

(高知短期大学学長代理講演 1992年4月)

○人間らしい働き方とは－過労と過労死を防ぐために

(高知短期大学開放講座 1992年7月)

○ゆとりシンポジウム・コーディネーター

(労働省、高知県主催 1992年11月)

○生涯学習とは何か

(第21回全国夜学生シンポジウム記念講演 1992年11月)

○女性が変わる、地域が変わる・コーディネーター

(高知県女性フォーラム 1992年11月)

○公務員労働者と春闘

(国公労連主催春闘討論集会 1993年1月)

○1993年春闘をめぐる情勢と財界の春闘対策

(全造船機械四国主催春闘学習会1993年3月)

○生涯学習時代と高知短期大学

(高知短期大学学長代理講演 1993年4月)

○働く女性の現状と課題－日本と高知

- (高知県主催ステップアップセミナー 1993年9月)
- 雇用における構造的男女差別の克服と労働組合運動  
(三重短期大学平成5年度公開講座 1993年9月)
- 私達にも『豊かさ』を一押し寄せる外国人労働者  
(高知短期大学公開講座 1993年10月)
- 男女で支える高齢化時代・コーディネーター  
(高知県女性フォーラム 1993年10月)
- 女性役職者に求められるもの  
(高知婦人少年室主催 女性役職者懇談会 1994年3月)
- 国際家族年とは  
(新婦人高知県本部学習会 1994年4月)
- 「非自民」連立政権への社会党、連合の対応－山岸章「連合・世直しへの道」を読む  
(高知市民の大学 1994年5月)
- 働く女性の現状と課題－日本と高知  
(高知県主催ステップアップセミナー 1994年6月)
- 産業別統一闘争とは  
(高知医労連学習会 1994年10月)
- 労働時間をきめる－絶対的剰余価値の生産②  
(高知県学習協 第二期資本論講座 1994年10月)
- 女性とはたらくこと  
(佐賀町教育委員会主催・黒潮一番地いきいき女性セミナー '94 1994年11月)
- 女性たちは、今－社会を変えつつある女性たちの生活と運動  
(高知市生活改良普及センター主催 1994年12月)
- 財界の労務政策の方向－日経連労働問題研究会報告を中心にして  
(高知県95春闘共闘促進懇談会 1995年2月)
- 介護休業制度の重要性－企業にとってのメリット  
(高知県介護休業制度等導入研究会 1995年2月)
- 今、女性たちに求められているもの－社会を変えつつある女性たちの運動  
(第85回国際女性デー高知集会 1995年3月)
- 雇用者を中心とする働く女性の現状と課題

- (高知県主催ステップアップセミナー 1995年5月)
- 戦後50年と社会保障－憲法の生存権理念を貫いた“社会保障”構想を  
(四国高齢者大会 1995年9月)
  - 日本の労働運動の現状と運動の基本的方向  
(愛知県労働組合連合会96年春闘学習会 1996年1月)
  - 働く女性と男性の現在  
(高知県主催現代を生きる男性セミナー 1996年6月)
  - これからの雇用形態と変化する賃金制度  
(雇用促進事業団講座 1996年7月)
  - あなたの雇用はこれからも確保されますか？－失業の増大と雇用・賃金制度のゆくえ (本山町主催高知短期大学開放講座 1996年9月)
  - 日経連97年労働問題研究委員会報告をどう読むか  
(高知県学習協新年学習開き 1997年1月)
  - 男女平等社会への変革と女性運動・労働運動－21世紀日本社会の展望  
(高知短期大学公開最終講義 1997年3月)
  - 「見直し」をめぐる－男女雇用機会均等法など  
(高知市女性センター基礎講座 1997年3月)
  - 組合活動の権利を守り拡大するために－労組法と労働基本権  
(高知県学習協「労働者の権利と労働法」講座 1997年3月)

## ②講演記録

- 「産業別労働組合の重要性とその運動課題」  
1984年 自治労愛知県本部
- 「公企体等の賃金・スト権問題と労働組合運動」  
1984年 統一労組懇官公労連公企体部会
- 「組合書記の課題」  
1981年 国鉄労組書記労働組合中四国ブロック会議
- 生涯学習とは何か 1992年 第21回全国夜間シンポジウム
- 「男女雇用機会均等法施行の現状と課題」

(8) 調査・研究・政策プロジェクトへの参加

- 全国公立短期大学協会理事会「公立短期大学基本問題委員会報告」作成作業 (1987年度～1988年度)
- 高知市労働問題研究会の「高知市パートタイムなどのアンケート調査」の実施とその分析に基づく調査報告書の作成作業 (1989年度)
- 高知県婦人問題懇談会の「ともに歩もう21世紀へーこうち女性プランへの提言」作成作業 (1989年度)
- 高知市女性政策推進特別委員会「新しい男女共生の社会をめざしてー第二次提言ー」作成作業 (1993年度)
- 高知県教員採用制度検討委員会(高知県教組委嘱)「高知県における現在の臨時教員制度を改め、将来の廃止に向けて」と「高知県における教員採用制度の改善について」作成作業 (1995年度)

以 上